

横須賀市中小企業景況レポート

第55号（令和8年7月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市がさらに追加調査しました。

横須賀市中小企業景況レポートは、3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：322社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査129社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和8年1月～3月の景況感（調査時点 令和8年3月1日）
 今期・・・令和8年4月～6月の景況感（調査時点 令和8年6月1日）
 次期・・・令和8年7月～9月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期のD I 値を記載

全業種の景況感は、前期【△16P】から【△13P】となりました。

今期の景況感は、不動産業【33P】が26P大幅に向上し、サービス業【△12P】が17P向上しましたが、建設業【△29P】は、22P大幅に低下しました。製造業【13P】、卸・小売業【△26P】は、横這いの状況です。

項目別では、売上額【△7P】、収益【△23P】、雇用人員【△30P】、資金繰り【△20P】は、横這いの状況です。

昨年同期（令和7年4月～6月）との景況感比較は、今期構成比【△26P】で、前期構成比【△16P】と比べ、10P低下しました。

景況感については原材料費高騰による収益への影響や人手不足が依然として続くほか、中東情勢の不安定化に伴う石油製品価格の上昇や仕入が困難との声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15 P 以上)	やや向上 (6 P～14 P)	変わらない (△ 5 P～5 P)	やや低下 (△ 6 P～△14 P)	低下 (△15 P 以下)
				

業種別 調査結果と事業者の声

* DI 値調査結果は裏面に記載

（１）製造業 景況感 【 13 P <やや向上> 】 （前期比 2 P）

前期と比べ、売上額【13 P】が 18 P 向上し、収益【△ 3 P】は 6 P やや向上しました。
雇用人員、資金繰りは、横這いの状況です。

次期は、雇用人員はやや向上しますが、売上額、収益が大幅低下し、資金繰りもやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・生産に必要な石油製品由来の副資材の値上げ、調達不透明に加えて、それ以外の材料も値上がり要請が強い。
- ・原油価格高騰による影響は、限定的（資材の入りは悪くなっており、値上げもあるが操業に影響なし）

（２）建設業 景況感 【 △29 P <低下> 】 （前期比 △22 P）

前期と比べ雇用人員【△34 P】は、12 P やや向上しましたが、売上額【△32 P】が 25 P 大幅に低下し、収益【△35 P】、資金繰り【△29 P】は、それぞれ 15 P、16 P 低下しました。

次期は、売上額がやや向上し、資金繰りはやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・中東情勢の不安定化に伴う原油原材料の高騰や仕入困難で、受注案件の一時延期や仕掛中の現場にも影響が出ている。

(3) 卸・小売業 景況感 【 △26P <低下> 】 (前期比 2P)

前期と比べ、収益【△34P】、資金繰り【△28P】は、それぞれ12P、13Pやや低下しました。売上額【△17P】、雇用人員【△29P】は横這いの状況です。

次期は、売上額が低下し、収益、資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・中東情勢に起因した石油商品の高騰による増加のため、利益率は改善されていない。既存顧客が離れてしまうリスクを鑑みると価格改定のタイミングは難しい。
- ・建設資材の内、石油系を原料としている資材の供給が止まっている。又、仕入価格が上昇しており、今後の販売価格について客先交渉がどこまで対応できるか不明。

(4) 不動産業 景況感 【 33P <向上> 】 (前期比 26P)

前期と比べ、売上額【27P】は、20P大幅に向上し、収益【20P】、資金繰り【7P】は、それぞれ13P、7Pやや向上しました。雇用人員【△13P】は横這いの状況です。

次期は、雇用人員、資金繰りがやや向上しますが、売上額がやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・中東情勢の影響による資材不足や原価の高騰はリフォーム工事や新築に影響しており、仲介・売買ともに動きが鈍ってきている。
- ・材料費高騰による高めの価格設定、景気先行き不透明感及び今後の金利動向に対する不安により、投資用物件・一般住宅共に顧客側は様子をうかがっている状況が続いている。

(5) サービス業 景況感 【 △12P <やや低下> 】 (前期比 17P)

前期と比べ、売上額【△1P】が、21P大幅に向上し、収益【△20P】は、8Pやや向上しました。雇用人員【△27P】、資金繰り【△20P】は、横這いの状況です。

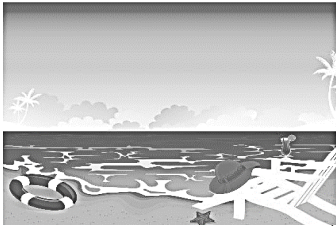
次期は、売上額と資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・社会情勢の影響により仕入れの金額が高くなっているが、低料金での設定をしている同業他社がいるため値上げが難しい。サービス業のため、適正価格を保つのが難しい状況です。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和8年1月～3月の景況感（調査時点 令和8年3月1日）
今・・・今期 令和8年4月～6月の景況感（調査時点 令和8年6月1日）
次・・・次期 令和8年7月～9月の景況感（調査時点 令和8年6月1日）



業種別調査企業数(回) 業種別調査企業数（回答数）

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	237	35	41	69	12	49
今期	322	53	56	103	15	95
次期	322	53	56	103	15	95

(単位：社)

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景 況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良 い(A)	14	16	11	35	30	17	15	5	7	7	12	6	14	33	20	8	15	14
変わらず	56	55	55	41	53	58	63	61	54	58	50	46	79	67	73	55	58	62
悪 い(B)	30	29	34	24	17	25	22	34	39	35	38	48	7	0	7	37	27	24
DI値(A)－(B)	△16	△13	△23	11	13	△8	△7	△29	△32	△28	△26	△42	7	33	13	△29	△12	△10
今－前 / 次－今	3		△10	2		△21	△22		△3	2		△16	26		△20	17		2
売 上 額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好 転(A)	17	20	12	24	30	15	17	9	11	17	18	12	14	27	20	14	20	12
変わらず	54	53	56	47	53	57	59	50	53	54	47	42	79	73	73	50	59	66
悪 化(B)	29	27	32	29	17	28	24	41	36	29	35	46	7	0	7	36	21	22
DI値(A)－(B)	△12	△7	△20	△5	13	△13	△7	△32	△25	△12	△17	△34	7	27	13	△22	△1	△10
今－前 / 次－今	5		△13	18		△26	△25		7	△5		△17	20		△14	21		△9
収 益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増 加(A)	13	14	9	15	25	11	12	4	5	13	12	6	14	20	27	12	16	12
変わらず	55	49	52	61	47	53	56	57	56	52	42	44	79	80	66	48	48	56
減 少(B)	32	37	39	24	28	36	32	39	39	35	46	50	7	0	7	40	36	32
DI値(A)－(B)	△19	△23	△30	△9	△3	△25	△20	△35	△34	△22	△34	△44	7	20	20	△28	△20	△20
今－前 / 次－今	△4		△7	6		△22	△15		1	△12		△10	13		0	8		0
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多 い(A)	3	3	4	0	4	6	0	4	4	4	2	3	0	0	7	6	4	3
適 正	62	64	65	68	56	58	54	58	55	63	67	66	86	87	80	59	65	71
少 ない(B)	35	33	31	32	40	36	46	38	41	33	31	31	14	13	13	35	31	26
DI値(A)－(B)	△32	△30	△27	△32	△36	△30	△46	△34	△37	△29	△29	△28	△14	△13	△6	△29	△27	△23
今－前 / 次－今	2		3	△4		6	12		△3	0		1	1		7	2		4
資金繰り	資金繰りが上手に行っているかを判断するためお聞きました。																	
楽である(A)	9	9	5	12	17	11	2	7	2	10	7	5	0	7	13	12	7	3
さほど苦しくない	67	62	64	73	64	70	83	57	60	65	58	55	100	93	87	51	66	66
苦 しい(B)	24	29	31	15	19	19	15	36	38	25	35	40	0	0	0	37	27	31
DI値(A)－(B)	△15	△20	△26	△3	△2	△8	△13	△29	△36	△15	△28	△35	0	7	13	△25	△20	△28
今－前 / 次－今	△5		△6	1		△6	△16		△7	△13		△7	7		6	5		△8

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答 330社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」が増加(A)	43社	13%	16%
昨年と比べ「景況感」が変わらない、横ばい	157社	48%	52%
昨年と比べ「景況感」が減少(B)	130社	39%	32%
DI値(A)－(B)		△26P	△16P

